

日時	令和2年1月23日(木)・1月24日(金)
学年・学級	第1学年

単元名	国際社会の動向と日本の果たすべき役割
単元の目標	国際社会の動向や課題を理解し、これからの国際社会における人類の連帯の意識を認識し、国際社会における日本の役割と日本人としての生き方について考える。

## 評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
国際社会の動向や課題について関心を持ち、それらの課題を解決しようとする意欲をもって日本の役割について考えようとしている。	国際社会の課題を解決するための日本の役割を、自己との関わりを意識しながら主体的に考える。	国際社会の動向や課題について、適切な資料にあたることができる。	国際社会の動向や課題及びそれらに対する日本の取り組みの現状を理解する。

本時の目標	現在議論されている核兵器禁止条約について、模擬国連を手段として各国大使の立場に立って再検討することを通じて、冷戦後も国際協調における脅威であり続ける核兵器をめぐる国際的な議論や各国の国力、外交関係などを理解し、説明することができる。
主となる学習活動	模擬国連・リフレクション

## 指導過程と評価

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
事前学習	・配布する資料集やてびき、各自の調べ学習（インターネット、本、新聞など）をもとにポジション・ペーパーを記入する。	・ポジションペーパーは事前に回収し、コメントを付与して返却する。	・資料集や教科書等を利用した調べ学習をもとに担当国について調べ、記入することができるか。 ・理由とスピーチ内容を分けて考えることができるか。（理由はその国の本音、スピーチは大使としての建前）
模擬国連導入 15分  展開① （模擬国連前半） 35分	・大学生からの自己紹介 ・模擬国連の説明 ・条文の説明  ・議長による開会宣言、出席確認 ・スピーチ ・自由交渉・決議案考案	・模擬国連のてびき、資料集をもとに説明  *議長は教員 ・一カ国ずつ読み上げて出席を取る ・時間の計測と制限 ・この間にドラフトペーパーも配布 ・適宜教員や学生が補助に入る ※課題として決議案に対する可否とその理由を考えてきてもらう。（その過程で出してくれば新しい決議案も可）	・作成したスピーチ原稿をもとに、時間を守って効果的に表現することができるか。 ・作成したポジションペーパーと各国のスピーチの内容を踏まえて、決議案の作成に向けて他国の大使と交渉することができるか。（態度と作成した決議案をもとに評価）
展開② （模擬国連後半） 25分  終結 25分	・2回目の自由交渉・決議案の提出  ・議決 ・閉会  ・リフレクションペーパーの記入 ・感想共有・ディスカッション ・先生や運営側からのフィードバック	・議長である教員、アメリカや書記を担当する学生、その他運営に関わる学生からのフィードバック	・課題として考えてきた内容をもとに新たな決議案を提出したり、担当国大使として、根拠を持ってそれらに対する態度を示したりすることができるか。 （態度と作成した決議案をもとに評価） ・各国の立場に立って、「賛成」「反対」「棄権」を表明することができるか。 ・会議の経過や結果をもとに振り返ることができるか。（ペーパーをもとに評価） ・積極的にディスカッションに参加することができるか。